資料３

**令和６年度　施設入所の待機者にかかる実態調査**

　令和５年度、施設入所の待機者や地域における相談支援体制の実態を把握、地域移行推進に向けた今後の方策の検討のため調査を実施。

府内の障がい者のうち、施設入所を希望しつつ自宅やグループホームなどで待機している方は、令和５年３月末時点で1,077人。（大阪市除く）

調査結果より、地域生活推進に向けた認識の形成と共有や支援者間の連携を通じた一体的な支援体制の整備の必要性から令和６年度における施策を展開。

R6年度は、R5年度からの経年変化の把握とともに、令和7年度の事業展開を視野に入れた調査項目案を作成。審議会等で検討の上、質問項目等を精査し、調査を実施する。

【検討事項】

◆R5調査結果を踏まえた、毎年の実態や変化を把握すべき項目

何年かに一回把握すべき項目の有無

◆R7年度事業展開に向けた必要項目

エビデンスとして不足する項目の追加

**【調査項目】**

・待機者数

・待機者本人及び家族等の状態像

・施設入所後の地域生活への説明及び意向確認の有無

・地域生活継続の可能性の検討の有無

・待機している理由

・待機者に関する協議の場等について

**【令和６年度のスケジュール】**

〇令和６年 ７～８月　府内市町村へ調査

〇令和６年 ８～９月　調査結果のとりまとめ及び分析作業

〇令和６年 10月～　令和７年度当初予算要求